

# 令和2年度 学力向上に向けた検証改善シート

尾道市立

瀬戸田小学校

## 全国学力・学習状況調査の活用

6年生 全国学力・学習状況調査の活用(9月)

| 教科 | 国語   | 算数   |
|----|------|------|
| 結果 | 64.5 | 55.7 |

### 1 課題

- (国語科)
- ・事実と意見を区別して書くことに課題がある。
  - ・問題条件に合わせて書くことが難しく、内容が不十分である。
- (算数科)
- ・解答の根拠を式や言葉で表すことに課題がある。
  - ・正答の条件をすべて書けておらず、内容が不十分である。



### 2 めざす姿

- ・問題の意図を把握し、目的や意図に応じて情報を取捨選択することができる。
- ・導き出した答えに対して、不足はないか多面的に考え思考することができる。
- ・問題の条件を確認し、明確に意見を表現できる。

### 3 めざす姿に向けた取組の具体

#### 2学期の取組

- ・国語科において読解力を向上させるべく、文学体験を導入した読みの授業を各学年で系統的に実施した。児童に読みの視点を明確にさせることで主体的に学習に取り組んだり、叙述や自分の体験をもとに、意見を表現させている。
- ・国語科・算数科において、帯タイムを活用し、学力向上のための取り組みを実施する。

#### 検証

- ・国語科の単元末テストにおいて、2学期の得点平均8割以上の児童の割合が、低学年で89%、中学年で75%、高学年で85%であった。
- ・授業改善に取り組んだことで児童の読解力や表現力の向上が見られる。



#### 3学期の取組

- ・国語科において学力向上のための授業提案、研修を行った。児童に非連続テキストの読み取りや、条件に合った記述の仕方を教えることで、児童の書くことに対する学力の向上を目指した。
- ・国語科・算数科において、モジュール学習を実施し、学習内容の定着を図っている。

#### 検証

- ・標準学力調査において、3年国語を除き、全国平均を上回った。
- ・国語科においては、文学体験を用いた読みの授業研究を行うことで、友達の意見を取り入れたり、比較したりしながら考えを表現することができた。
- ・標準学力調査の非連続テキストの読み取りでは、全学年で全国平均以上であった。今後は更に児童が正確に読み解き、表現できるように実践を重ねる。
- ・算数科では、標準学力調査において全学年で全国平均以上であったことから、モジュール学習の取り組みや学力向上の取り組みが有効であったと考えられる。

## 市学力調査

#### 1年生 市学力調査(12月)

| 教科            | 国語             | 算数             |
|---------------|----------------|----------------|
| 結果<br>(対全国比%) | 76.2<br>(105%) | 90.5<br>(112%) |

#### 2年生 市学力調査(12月)

| 教科            | 国語             | 算数             |
|---------------|----------------|----------------|
| 結果<br>(対全国比%) | 76.3<br>(101%) | 81.4<br>(110%) |

#### 3年生 市学力調査(12月)

| 教科            | 国語            | 算数             |
|---------------|---------------|----------------|
| 結果<br>(対全国比%) | 62.5<br>(99%) | 73.2<br>(108%) |

#### 4年生 市学力調査(12月)

| 教科            | 国語             | 算数             |
|---------------|----------------|----------------|
| 結果<br>(対全国比%) | 67.8<br>(102%) | 68.8<br>(109%) |

#### 5年生 市学力調査(12月)

| 教科            | 国語             | 算数             |
|---------------|----------------|----------------|
| 結果<br>(対全国比%) | 75.5<br>(113%) | 73.6<br>(116%) |